

平成30年12月5日(水)

### イノベーション

イノベーションとは英語の「innovation」のことで、「革新」「一新」などの意味を持つ言葉です。この言葉は動詞「innovate」の名詞形で、ラテン語の「リニューアルする」という意味を持つ言葉に由来しています。

日本で使われる「イノベーション」には、「革新」「一新」という意味のほかにも、「技術革新」「大きな変化」「新しい活用法」などの意味を持つこともあります。つまり、ただ単に新しくするのではなく、これまでの常識が変わるほど社会を大きく動かす技術革新や、新たな概念を指す言葉ということです。

実は、私たちの周りには「イノベーション」の成果であふれています。例えば、インターネットやテレビ、スマートフォンなど。新たなアイデアが生まれ、私たちの生活を根本から変えていきます。パラダイムがシフトするわけです。

パラダイムとは、その時代に人々の中で支配的な常識や前提のことです。つまり、私たちが「当たり前」だと思っていることです。そして、パラダイムシフトとはその当たり前の常識や前提が大きく変わることを意味します。

イノベーションに話を戻しましょう。イノベーションは、新たなアイデアで世界が変わることです。車や飛行機などの移動手段もイノベーションの成果です。もっと身近なところでは、自動販売機や回転寿司もイノベーションの成果と言えるでしょう。

イノベーションはこれまでにない発想や従来のやり方の中でアイデアが生まれ、そこにニーズと技術が加わり成り立つものです。ビジネス用語としての「イノベーション」は、「次のイノベーションとなりうる製品が必要だ」というように、技術革新という意味で最もよく使われます。

しかし、最近ではその枠を超え、サービスやマーケティングなどの分野にも広がり、「新機軸のサービス」や「新たな価値観の提案」という意味でも使われるようになりました。また、ITを活用したイノベーションも注目され、仕組みや情報を活用した変革が進んでいます。

話を改めて、磐城高校のイノベーションとは何でしょう。つまるところ、授業が変わることなのではないでしょうか。ところで、常識や前提を根本的に変革する授業とは何か。生徒がおもしろくて次から次にチャレンジすることを厭わないような気持ちにする授業ではないか。

そんな授業を創造していくことこそが、イノベーションであり、パラダイムシフトなのかもしれません。